

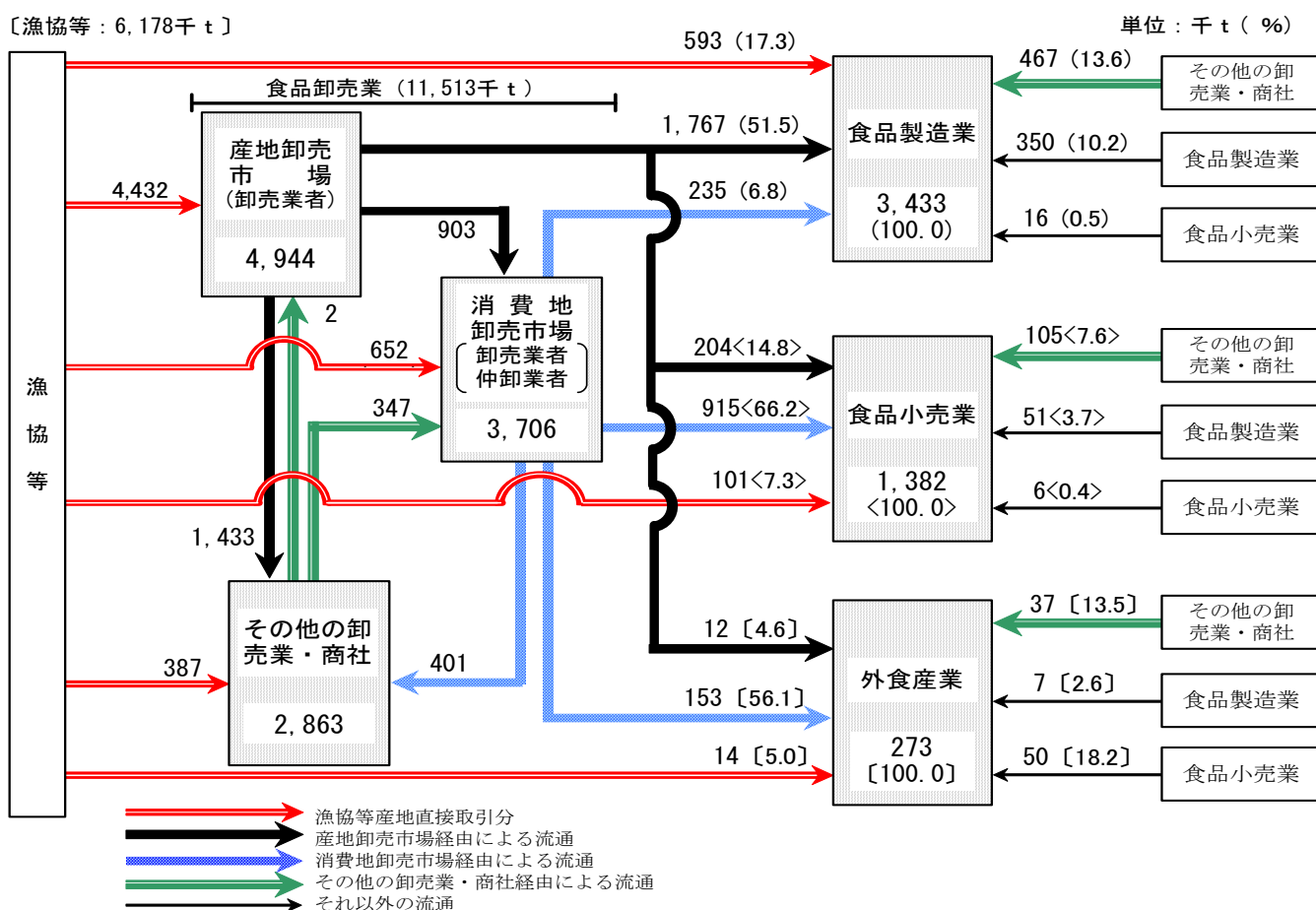
1 水産物の流通経路別仕入状況

(1) 国内産水産物（生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵）

平成15年度の食品産業における国内産水産物（魚類、貝類、海藻類、以下同じ。）の仕入量（延べ仕入量、以下同じ。）は、食品卸売業（産地卸売市場、消費地卸売市場及びその他の卸売業・商社）が1,151万3千t、食品製造業が343万3千t、食品小売業が138万2千t、外食産業が27万3千tであった。

仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では産地卸売市場からの仕入量割合が51.5%と最も高くなっており、食品小売業及び外食産業では消費地卸売市場からが66.2%、56.1%とそれぞれ最も高くなっている。

図1 国内産水産物の主な流通経路別仕入量



注：1 □内の数値は、産地卸売市場、消費地卸売市場、その他の卸売業・商社、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、括弧内は仕入量（延べ仕入量）に対する割合である。
 2 業種別の仕入先・規模を調査・推定したものであること及び食品卸売業の各業種には、製造（加工）を行う事業所、消費者へ直接販売する事業所等が含まれていることから、食品卸売業の各業種の仕入量と他の業種が食品卸売業の各業種から仕入れた量の合計とは一致しない。
 3 この結果には漁協等から直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

(2) 輸入水産物（生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵）

平成15年度の食品産業における輸入水産物の仕入量は、食品卸売業が294万3千t、食品製造業が57万8千t、食品小売業が52万8千t、外食産業が11万6千tであった。

仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では商社からの仕入量割合が43.3%と最も高くなっており、食品小売業及び外食産業では消費地卸売市場からが51.8%、37.6%とそれぞれ最も高くなっている。

表 1 水産物（国内産及び輸入）の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合

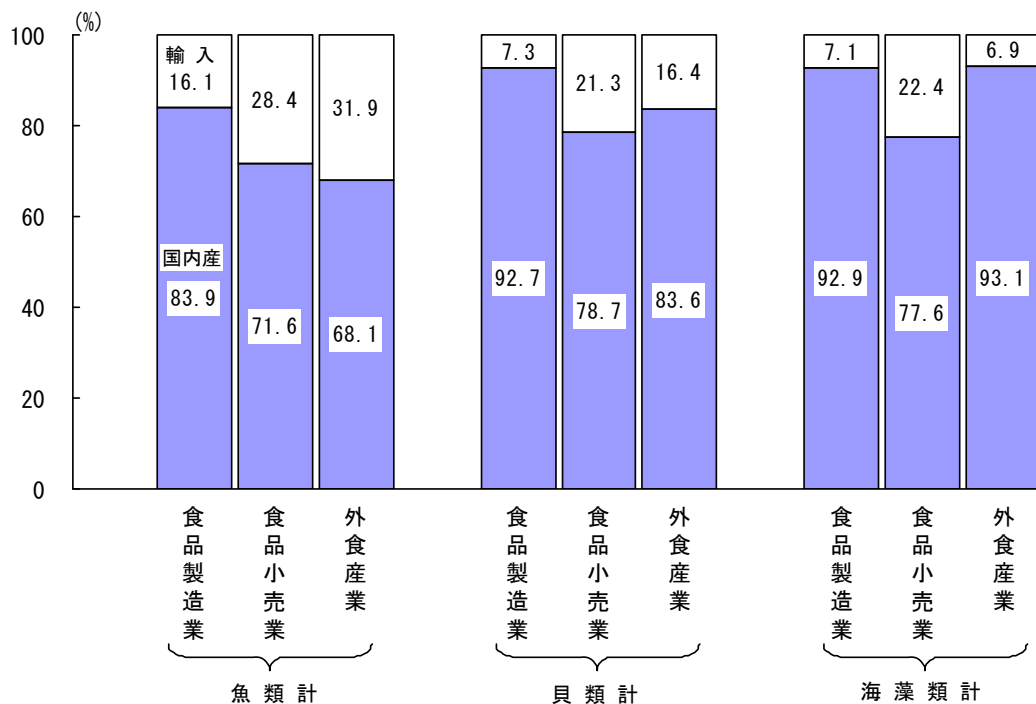
業 種	仕 入 量	仕 入 先 別 仕 入 量 割 合 (仕入量を100とした割合：%)										
		計	漁協等	食 品 卸 売 業				自社直接 輸 入	食 品 製 造 業	食 品 小 売 業	自 社 採 捕 ・ 養 殖	
				産地卸売 市場 卸売業者	消費地卸売市場 卸売業者	仲卸業者	その他の 卸 売 業					商 社
	千 t											
食 品 製 造 業 計	4 011	100.0	14.8	47.5	5.6	1.8	4.9	14.2	1.4	9.4	0.4	0.1
国 内 産	3 433	100.0	17.3	51.5	5.2	1.6	4.3	9.3	-	10.2	0.5	0.1
輸 入	578	100.0	-	24.0	7.5	3.0	7.9	43.3	9.4	4.8	0.0	-
食 品 卸 売 業 計	14 456	100.0	37.8	20.4	15.8	2.0	5.1	10.1	5.4	3.3	0.0	0.0
国 内 産	11 513	100.0	47.5	24.7	16.1	1.7	4.2	2.6	-	3.1	0.0	0.0
輸 入	2 943	100.0	-	3.7	14.6	3.0	8.6	39.4	26.3	4.4	0.0	-
食 品 小 売 業 計	1 910	100.0	5.3	12.7	21.0	41.2	6.0	7.5	1.0	4.8	0.5	0.0
国 内 産	1 382	100.0	7.3	14.8	21.1	45.2	4.9	2.8	-	3.7	0.4	0.0
輸 入	528	100.0	-	7.1	21.0	30.8	9.1	19.7	3.6	7.6	0.9	-
外 食 産 業 計	389	100.0	3.5	3.8	11.0	39.6	13.9	6.7	0.2	3.3	18.0	-
国 内 産	273	100.0	5.0	4.6	11.4	44.6	10.6	2.9	-	2.6	18.2	-
輸 入	116	100.0	-	2.0	10.0	27.6	21.8	15.7	0.5	4.9	17.5	-

注：1 仕入量とは、同業種間の流通を含む延べ仕入量である。
 2 計と内訳は一致しない。
 (注1～2とも以下の表2、3、4、5において同じ。)

(3) 水産物の国内産・輸入別仕入量割合

水産物の魚類、貝類、海藻類について国内産と輸入の仕入量割合をみると、魚類は、食品製造業においては国内産の占める割合が83.9%と高くなっているものの、外食産業においては輸入の占める割合が31.9%と比較的高い割合となっている。また、貝類については、食品製造業で国内産の割合が92.7%と高くなっており、海藻類については、食品製造業及び外食産業において国内産の割合が高く、それぞれ92.9%、93.1%となっている。

図 2 魚類、貝類、海藻類の業種別国内産・輸入別仕入量割合



2 水産物の業種小分類別仕入量及び仕入量割合

(1) 食品製造業

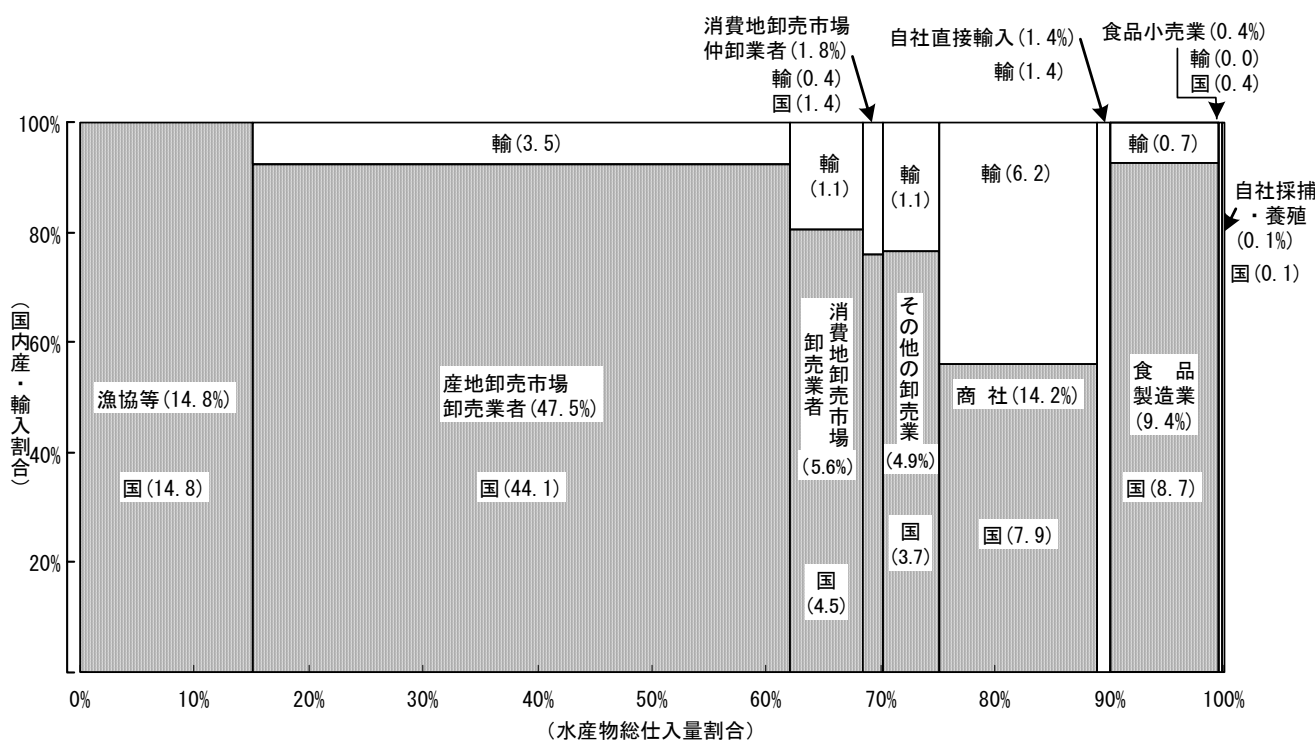
ア 食品製造業における水産物の仕入量は401万1千tで、国内産が343万3千t、輸入が57万8千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、産地卸売市場の卸売業者からの仕入量割合が仕入量全体の47.5%（国内産44.1%、輸入3.5%）と最も高く、次いで漁協等からが14.8%、商社からが14.2%（国内産7.9%、輸入6.2%）となっている。

このうち、仕入量全体の85.6%を占める国内産についてみると、産地卸売市場の卸売業者からが仕入量全体の44.1%と最も高く、次いで漁協等からが14.8%、同業種である食品製造業からが8.7%となっている。

一方、輸入についてみると、商社からが6.2%と最も高くなっている。

図3 食品製造業における水産物（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



注：1（ ）内は、食品製造業の水産物総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品製造業における業種小分類別の仕入先別仕入量割合をみると、水産物仕入量の93.9%を占める水産食料品製造業においては、国内産は産地卸売市場の卸売業者からの仕入量割合が仕入量全体の46.1%と最も高く、次いで漁協等からが15.2%となっている。また、輸入は商社からが全体の5.4%と最も高く、次いで産地卸売市場の卸売業者からが3.5%となっている。

一方、冷凍調理食品製造業においては、国内産は同業種である食品製造業からが仕入量全体の14.8%と最も高く、次いで商社からが13.8%となっている。また、輸入は商社からが全体の21.9%と最も高く、次いで自社直接輸入が6.1%となっている。

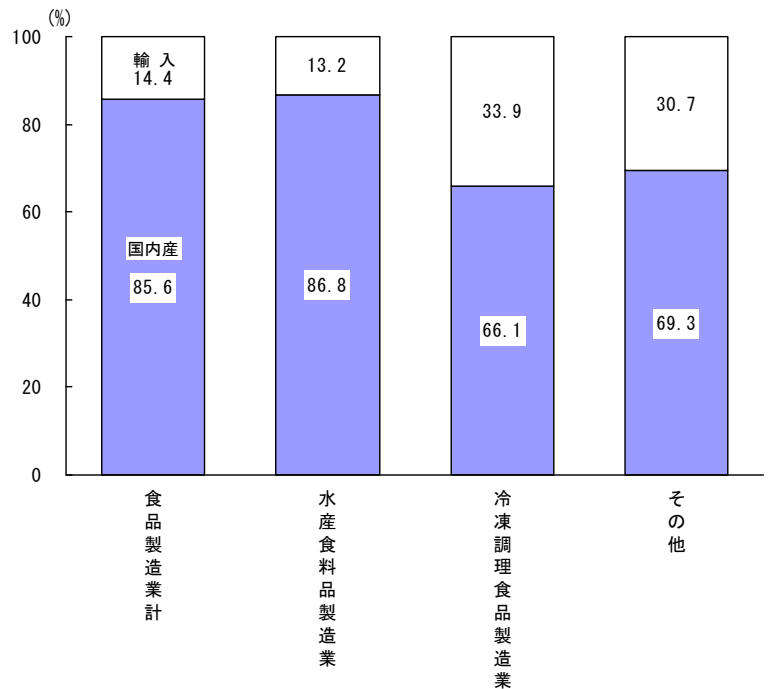
表2 食品製造業における水産物（国内産及び輸入）の業種小分類別仕入量及び仕入先別仕入量割合

業種	仕入量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合：％）										
			漁協等	食品卸売業				自社直接輸入	食品製造業	食品小売業	自社採捕・養殖		
				産地卸売市場卸売業者	消費地卸売市場卸売業者	仲卸業者	その他の卸売業					商社	
	千t												
食品製造業計	4 011 (100.0)	100.0	14.8	47.5	5.6	1.8	4.9	14.2	1.4	9.4	0.4	0.1	
国内産	3 433	85.6	14.8	44.1	4.5	1.4	3.7	7.9	-	8.7	0.4	0.1	
輸入	578	14.4	-	3.5	1.1	0.4	1.1	6.2	1.4	0.7	0.0	-	
水産食料品製造業	3 766 (93.9)	100.0	15.2	49.6	5.5	1.6	4.6	13.1	1.0	8.9	0.4	0.1	
国内産	3 268	86.8	15.2	46.1	4.3	1.2	3.5	7.7	-	8.3	0.4	0.1	
輸入	497	13.2	-	3.5	1.2	0.4	1.1	5.4	1.0	0.6	-	-	
冷凍調理食品製造業	170 (4.2)	100.0	10.9	16.5	9.6	0.2	4.4	35.7	6.1	16.7	0.0	-	
国内産	112	66.1	10.9	13.2	9.6	0.0	3.8	13.8	-	14.8	-	-	
輸入	58	33.9	-	3.4	-	0.2	0.6	21.9	6.1	1.8	0.0	-	
その他	75 (1.9)	100.0	4.2	12.8	1.3	13.9	17.7	18.8	9.4	21.8	0.1	-	
国内産	52	69.3	4.2	12.2	0.9	13.1	14.5	7.1	-	17.2	0.1	-	
輸入	23	30.7	-	0.6	0.4	0.7	3.2	11.7	9.4	4.6	0.0	-	

注：1 仕入量の（ ）内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合（％）である。
 2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の水産物総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。
 （注1～2とも以下の表3、4、5において同じ。）

ウ 食品製造業における業種小分類別の国内産と輸入の仕入量割合についてみると、水産食料品製造業においては国内産の占める割合が高く、86.8%となっているものの、冷凍調理食品製造業においては輸入の占める割合が33.9%と比較的高い割合となっている。

図4 食品製造業における業種小分類別の国内産・輸入別仕入量割合



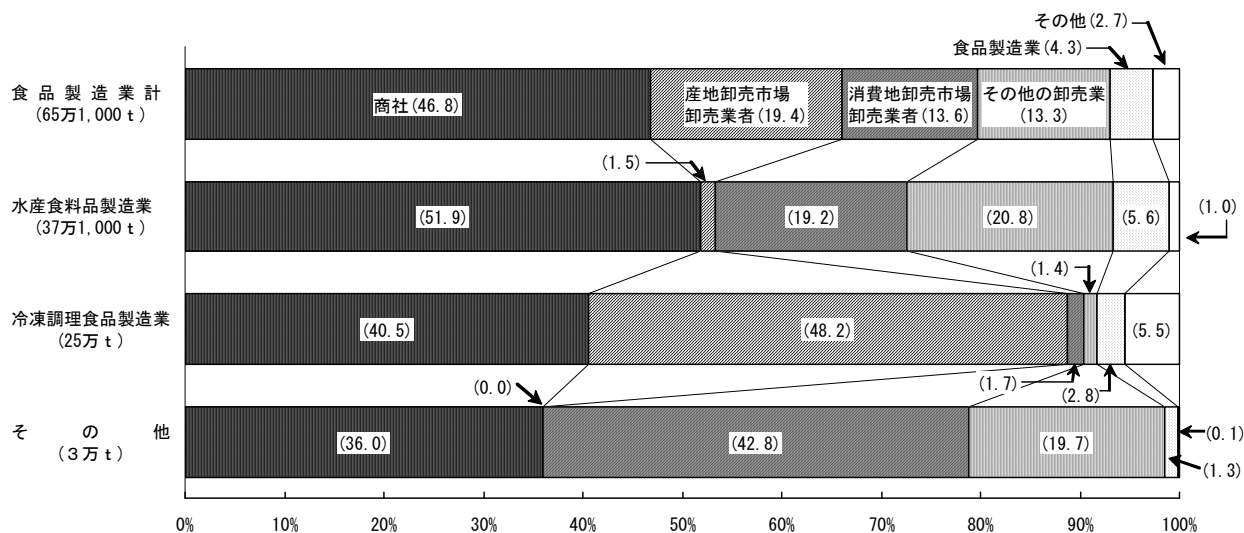
エ 輸入一次加工原料水産物

(ア) 食品製造業における輸入一次加工原料水産物の仕入量は65万1千 t で、仕入先別仕入量割合をみると商社からの仕入量割合が仕入量全体の46.8%と最も高く、次いで産地卸売市場の卸売業者からが19.4%、消費地卸売市場の卸売業者からが13.6%となっている。

(イ) 食品製造業における業種小分類別の仕入先別仕入量割合をみると、水産食料品製造業においては、商社からの仕入量割合が仕入量全体の51.9%と最も高く、次いでその他の卸売業からが20.8%、消費地卸売市場の卸売業者からが19.2%となっている。

一方、冷凍調理食品製造業においては、産地卸売市場の卸売業者からが48.2%と最も高く、次いで商社からが40.5%となっており、この2つでほとんどを占めている。

図5 食品製造業における輸入一次加工原料水産物の業種小分類別仕入先別仕入量割合



注：業種（業種小分類）名の下の（ ）内は業種別の仕入量である。

(2) 食品小売業

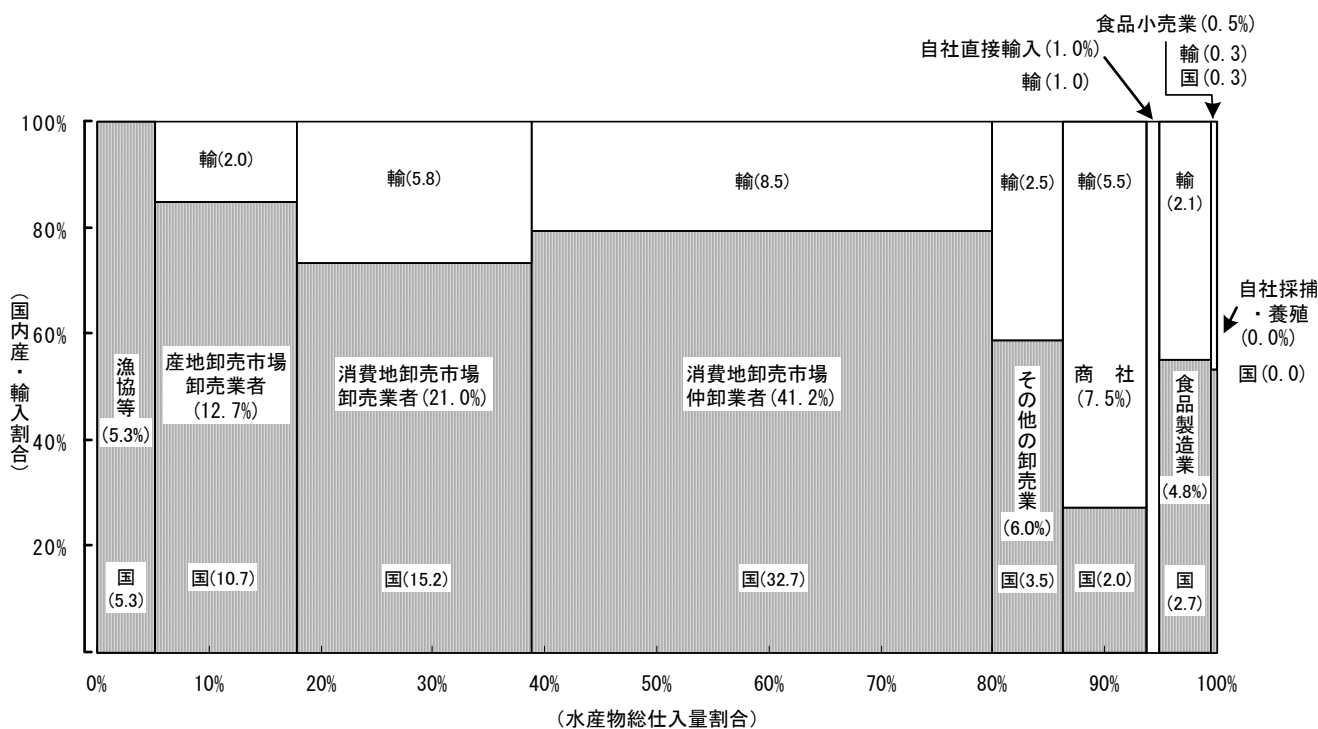
ア 食品小売業における水産物の仕入量は191万 t で、国内産が138万2千 t、輸入が52万8千 t となっている。

仕入先別仕入量割合をみると、消費地卸売市場の仲卸業者からの仕入量割合が仕入量全体の41.2%（国内産32.7%、輸入8.5%）と最も高く、次いで消費地卸売市場の卸売業者からが21.0%（国内産15.2%、輸入5.8%）、産地卸売市場の卸売業者からが12.7%（国内産10.7%、輸入2.0%）となっている。

このうち、仕入量全体の72.3%を占める国内産についてみると、消費地卸売市場の仲卸業者からが仕入量全体の32.7%と最も高く、次いで消費地卸売市場の卸売業者からが15.2%、産地卸売市場の卸売業者からが10.7%となっている。

一方、輸入についてみると、消費地卸売市場の仲卸業者からが8.5%と最も高くなっている。

図6 食品小売業における水産物（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品小売業の水産物総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品小売業における業種小分類別の仕入先別仕入量割合をみると、各業種とも国内産は消費地卸売市場の仲卸業者からの仕入量割合が最も高く、各種食料品小売業においては仕入量全体の35.6%、その他の飲食料品小売業においては同35.2%、鮮魚小売業においては同33.4%、百貨店・総合スーパーにおいては同28.4%となっている。

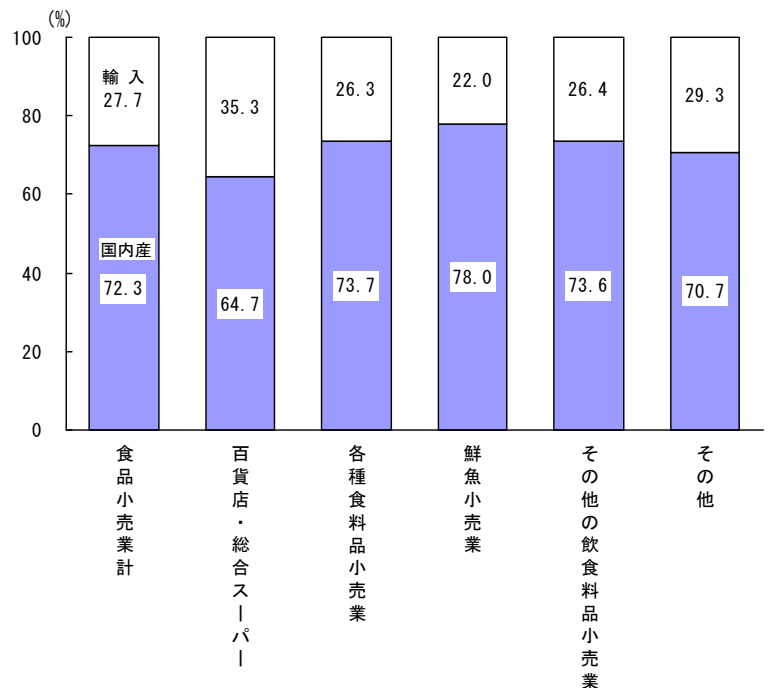
一方、輸入については、その他の飲食料品小売業、各種食料品小売業においては消費地卸売市場の仲卸業者からが仕入量全体の13.0%、11.6%とそれぞれ最も高く、百貨店・総合スーパー、鮮魚小売業においては商社からが全体の9.0%、8.0%とそれぞれ最も高くなっている。

表3 食品小売業における水産物(国内産及び輸入)の業種小分類別仕入量及び仕入先別仕入量割合

業 種	仕 入 量	計	仕 入 先 別 仕 入 量 割 合 (仕入量を100とした割合：%)									
			漁協等	食 品 卸 売 業			商社	自社直接 輸 入	食 品 製 造 業	食 品 小 売 業	自社採捕 ・ 養 殖	
				産地卸売 市場 卸売業者	消費地卸売 市場 卸売業者	その他の 卸 売 業						
食 品 小 売 業 計	1 910 (100.0)	100.0	5.3	12.7	21.0	41.2	6.0	7.5	1.0	4.8	0.5	0.0
国 内 産	1 382	72.3	5.3	10.7	15.2	32.7	3.5	2.0	-	2.7	0.3	0.0
輸 入	528	27.7	-	2.0	5.8	8.5	2.5	5.5	1.0	2.1	0.3	-
百 貨 店 ・ 総 合 ス ー パ ー	484 (25.3)	100.0	3.4	13.5	10.8	33.9	9.8	13.2	3.1	11.1	1.1	-
国 内 産	313	64.7	3.4	8.1	7.7	28.4	6.4	4.2	-	6.0	0.4	-
輸 入	171	35.3	-	5.4	3.1	5.4	3.4	9.0	3.1	5.2	0.7	-
各 種 食 料 品 小 売 業	718 (37.6)	100.0	1.7	10.8	26.0	47.1	5.8	4.7	0.3	3.4	0.2	0.0
国 内 産	529	73.7	1.7	10.5	19.2	35.6	2.7	2.0	-	1.9	0.2	0.0
輸 入	189	26.3	-	0.3	6.8	11.6	3.1	2.6	0.3	1.5	0.0	-
鮮 魚 小 売 業	446 (23.3)	100.0	12.5	15.7	21.2	38.9	2.6	8.2	0.1	0.5	0.4	-
国 内 産	348	78.0	12.5	14.4	15.5	33.4	1.4	0.2	-	0.4	0.2	-
輸 入	98	22.0	-	1.2	5.7	5.5	1.2	8.0	0.1	0.1	0.1	-
そ の 他 の 飲 食 料 品 小 売 業	218 (11.4)	100.0	4.5	9.4	25.6	48.2	4.9	3.3	-	3.5	0.6	-
国 内 産	161	73.6	4.5	7.6	19.6	35.2	3.5	0.7	-	2.1	0.4	-
輸 入	58	26.4	-	1.8	6.0	13.0	1.4	2.5	-	1.4	0.3	-
そ の 他	45 (2.3)	100.0	14.6	19.3	28.2	14.5	8.5	3.0	3.8	7.8	0.3	-
国 内 産	32	70.7	14.6	19.3	9.5	13.1	6.2	1.5	-	6.2	0.3	-
輸 入	13	29.3	-	0.1	18.7	1.4	2.3	1.4	3.8	1.6	0.0	-

ウ 食品小売業における業種小分類別の国内産と輸入の仕入量割合についてみると、鮮魚小売業、各種食料品小売業及びその他の飲食料品小売業においては国内産の占める割合が高く、それぞれ78.0%、73.7%、73.6%となっているものの、百貨店・総合スーパーにおいては輸入の占める割合が35.3%と比較的高い割合となっている。

図7 食品小売業における業種小分類別の国内産・輸入別仕入量割合



(3) 外食産業

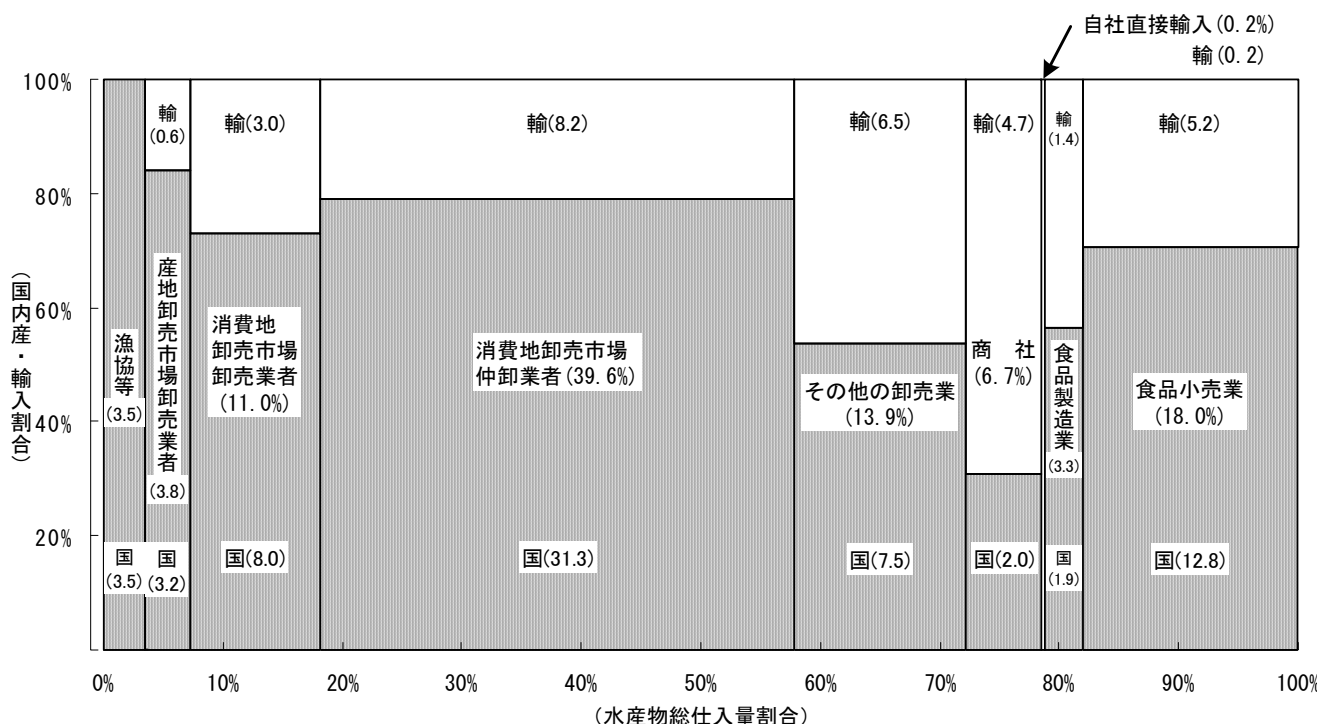
ア 外食産業における水産物の仕入量は38万9千 t で、国内産が27万3千 t、輸入が11万6千 t となっている。

仕入先別仕入量割合をみると、消費地卸売市場の仲卸業者からの仕入量割合が仕入量全体の39.6%（国内産31.3%、輸入8.2%）と最も高く、次いで食品小売業からが18.0%（国内産12.8%、輸入5.2%）、その他の卸売業からが13.9%（国内産7.5%、輸入6.5%）となっている。

このうち、仕入量全体の70.3%を占める国内産についてみると、消費地卸売市場の仲卸業者からが仕入量全体の31.3%と最も高く、次いで食品小売業からが12.8%、消費地卸売市場の卸売業者からが8.0%となっている。

一方、輸入についてみると、消費地卸売市場の仲卸業者からが8.2%と最も高くなっている。

図8 外食産業における水産物（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、外食産業の水産物総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 外食産業における業種小分類別の仕入先別仕入量割合をみると、水産物仕入量の39.8%を占めるすし店、同29.6%を占める日本料理店においては、国内産は消費地卸売市場の仲卸業者からの仕入量割合が仕入量全体の41.7%、34.1%とそれぞれ最も高くなっており、輸入についても同様に消費地卸売市場の仲卸業者からが全体の9.8%、8.0%とそれぞれ最も高くなっている。

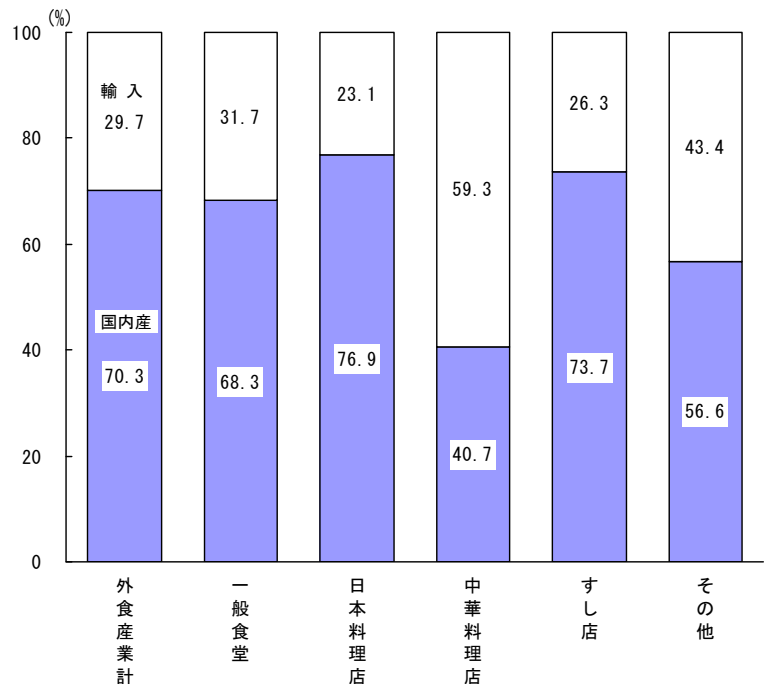
一方、一般食堂においては、国内産は食品小売業からが仕入量全体の23.0%と最も高く、次いで消費地卸売市場の仲卸業者からが18.4%となっている。また、輸入についても食品小売業からが全体の10.0%と最も高く、次いでその他の卸売業からが9.1%となっている。

表4 外食産業における水産物（国内産及び輸入）の業種小分類別仕入量及び仕入先別仕入量割合

業種	仕入量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合：％）									
			漁協等	食品卸売業			その他の卸売業	商社	自社直接輸入	食品製造業	食品小売業	
				産地卸売市場卸売業者	消費地卸売市場卸売業者	仲卸業者						
外食産業計	千t 389 (100.0)	100.0	3.5	3.8	11.0	39.6	13.9	6.7	0.2	3.3	18.0	
国内産	273	70.3	3.5	3.2	8.0	31.3	7.5	2.0	-	1.9	12.8	
輸入	116	29.7	-	0.6	3.0	8.2	6.5	4.7	0.2	1.4	5.2	
一般食堂	58 (15.0)	100.0	3.7	4.5	9.0	23.3	20.0	3.4	0.2	2.8	33.0	
国内産	40	68.3	3.7	3.3	6.8	18.4	10.9	0.7	-	1.5	23.0	
輸入	19	31.7	-	1.2	2.2	4.9	9.1	2.8	0.2	1.3	10.0	
日本料理店	115 (29.6)	100.0	4.5	4.7	16.5	42.1	12.7	2.0	0.1	1.5	15.9	
国内産	88	76.9	4.5	4.3	11.2	34.1	8.4	0.5	-	1.2	12.6	
輸入	27	23.1	-	0.3	5.3	8.0	4.3	1.5	0.1	0.3	3.3	
中華料理店	22 (5.6)	100.0	0.1	2.1	7.3	21.3	23.2	10.9	0.4	1.9	32.7	
国内産	9	40.7	0.1	1.9	1.6	12.0	8.2	3.4	-	1.6	11.9	
輸入	13	59.3	-	0.2	5.7	9.3	15.0	7.6	0.4	0.3	20.8	
すし店	155 (39.8)	100.0	3.7	3.3	9.2	51.5	8.9	10.4	-	2.6	10.3	
国内産	114	73.7	3.7	2.5	8.0	41.7	4.4	3.3	-	1.1	8.9	
輸入	41	26.3	-	0.8	1.2	9.8	4.5	7.1	-	1.5	1.4	
その他	39 (10.0)	100.0	1.5	3.3	6.9	19.1	23.4	8.1	0.9	12.8	24.1	
国内産	22	56.6	1.5	3.3	4.0	12.5	11.3	2.7	-	7.6	13.7	
輸入	17	43.4	-	0.0	2.8	6.6	12.0	5.4	0.9	5.2	10.3	

ウ 外食産業における業種小分類別の国内産と輸入の仕入量割合についてみると、日本料理店、すし店及び一般食堂においては国内産の占める割合が高く、それぞれ76.9％、73.7％、68.3％となっているものの、中華料理店においては輸入の占める割合が高く、59.3％となっている。

図9 外食産業における業種小分類別の国内産・輸入別仕入量割合



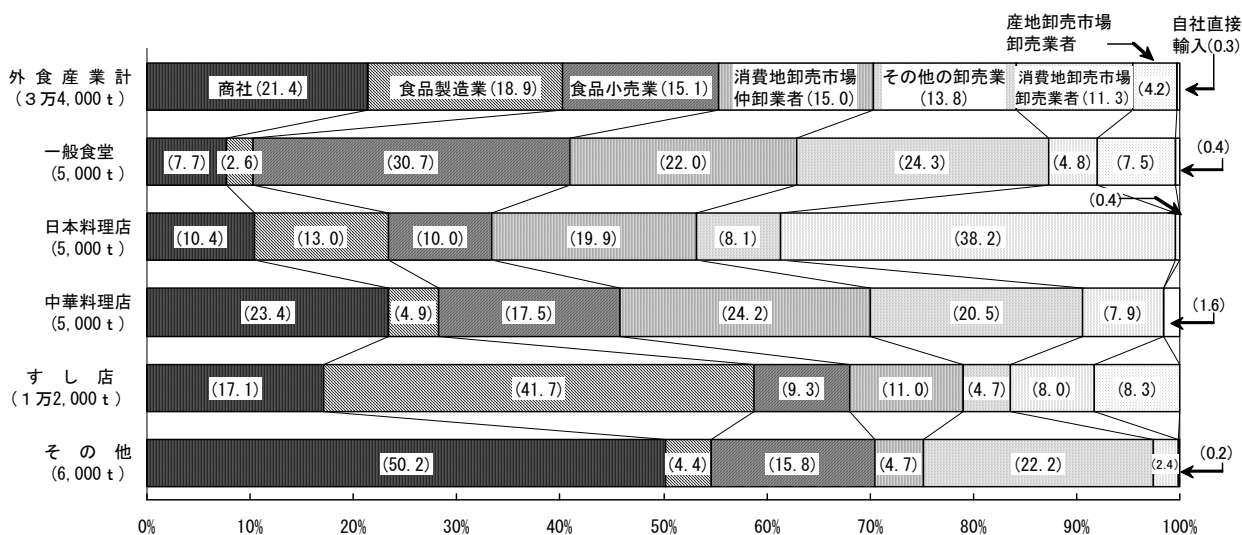
エ 輸入一次加工原料水産物

(ア) 外食産業における輸入一次加工原料水産物の仕入量は3万4千tで、仕入先別仕入量割合をみると商社からの仕入量割合が仕入量全体の21.4%と最も高く、次いで食品製造業からが18.9%、食品小売業からが15.1%となっている。

(イ) 外食産業における業種小分類別の仕入先別仕入量割合をみると、すし店においては、食品製造業からの仕入量割合が仕入量全体の41.7%と最も高く、次いで商社からが17.1%となっている。

一方、日本料理店においては消費地卸売市場の卸売業者からが、一般食堂においては食品小売業からが、中華料理店においては消費地卸売市場の仲卸業者からが全体の38.2%、30.7%、24.2%とそれぞれ最も高くなっている。

図10 外食産業における輸入一次加工原料水産物の業種小分類別仕入先別仕入量割合



注：業種（業種小分類）名の下の（ ）内は業種別の仕入量である。

(4) 食品卸売業

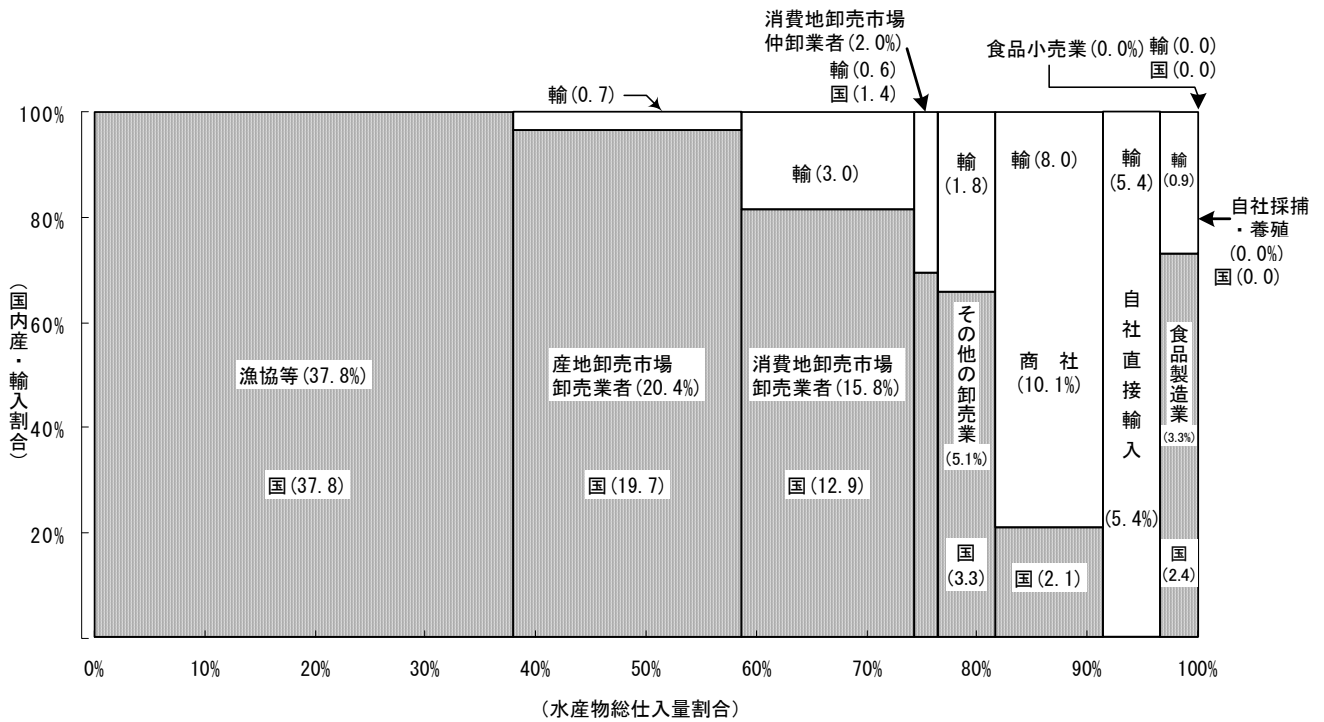
ア 食品卸売業における水産物の仕入量は1,445万6千tで、国内産が1,151万3千t、輸入が294万3千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、漁協等からの仕入割合が仕入量全体の37.8%と最も高く、次いで産地卸売市場の卸売業者からが20.4%（国内産19.7%、輸入0.7%）、消費地卸売市場の卸売業者からが15.8%（国内産12.9%、輸入3.0%）となっている。

このうち、仕入量全体の79.6%を占める国内産についてみると、漁協等からが仕入量全体の37.8%と最も高く、次いで産地卸売市場の卸売業者からが19.7%、消費地卸売市場の卸売業者からが12.9%となっている。

一方、輸入についてみると、商社からが8.0%と最も高くなっている。

図11 食品卸売業における水産物（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品卸売業の水産物総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品卸売業における業種小分類別の仕入先別仕入量割合をみると、水産物仕入量の36.5%を占める産地卸売市場の卸売業者においては、仕入量全体の93.7%が国内産で、漁協等からの仕入量割合が全体の84.0%とほとんどを占めている。

一方、水産物仕入量の31.0%を占めるその他の卸売業、同仕入量の20.0%を占める消費地卸売市場の卸売業者においては、国内産は産地卸売市場の卸売業者からが仕入量全体の32.0%、30.3%とそれぞれ最も高く、次いで漁協等からがそれぞれ8.6%、21.8%となっている。また、輸入についてはその他の卸売業においては自社直接輸入が、消費地卸売市場の卸売業者においては商社からの仕入量割合が全体の15.5%、10.5%とそれぞれ最も高くなっている。

表5 食品卸売業における水産物（国内産及び輸入）の業種小分類別仕入量及び仕入先別仕入量割合

業 種	仕 入 量	計	仕 入 先 別 仕 入 量 割 合 (仕入量を100とした割合：%)									
			漁協等	食 品 卸 売 業			自 社 直 接 輸 入	食 品 製 造 業	食 品 小 売 業	自 社 採 捕 ・ 養 殖		
				産地卸売市場卸売業者	消費地卸売市場卸売業者	その他の卸売業仲卸業者						
食 品 卸 売 業 計	14 456 (100.0)	100.0	37.8	20.4	15.8	2.0	5.1	10.1	5.4	3.3	0.0	0.0
国 内 産	11 513	79.6	37.8	19.7	12.9	1.4	3.3	2.1	-	2.4	0.0	0.0
輸 入	2 943	20.4	-	0.7	3.0	0.6	1.8	8.0	5.4	0.9	0.0	-
卸売市場内卸売業者(産地)	5 279 (36.5)	100.0	84.0	9.6	0.1	-	0.0	6.3	-	0.0	-	-
国 内 産	4,944	93.7	84.0	9.6	0.1	-	0.0	-	-	0.0	-	-
輸 入	335	6.3	-	-	0.0	-	0.0	6.3	-	0.0	-	-
卸売市場内卸売業者(消費地)	2,886 (20.0)	100.0	21.8	32.7	4.3	5.4	12.7	13.3	2.7	7.2	-	-
国 内 産	2,150	74.5	21.8	30.3	3.0	3.3	8.3	2.7	-	5.2	-	-
輸 入	735	25.5	-	2.4	1.3	2.1	4.4	10.5	2.7	2.0	-	-
卸 売 市 場 内 仲 卸 業 者	1,806 (12.5)	100.0	1.3	1.7	92.9	1.5	1.5	0.9	0.0	0.1	-	-
国 内 産	1,555	86.1	1.3	1.6	80.3	1.2	1.4	0.2	-	0.1	-	-
輸 入	250	13.9	-	0.1	12.6	0.3	0.1	0.7	0.0	0.0	-	-
そ の 他 の 卸 売 業	4,485 (31.0)	100.0	8.6	32.8	10.8	2.3	7.5	16.3	15.5	6.0	0.1	0.1
国 内 産	2,863	63.8	8.6	32.0	7.2	1.8	4.8	4.9	-	4.5	0.0	0.1
輸 入	1,622	36.2	-	0.8	3.6	0.5	2.7	11.4	15.5	1.6	0.0	-

3 水産物の品目別仕入量割合

(1) 食品製造業

ア 食品製造業における国内産水産物の品目別仕入先別仕入量割合をみると、魚類及び貝類は総じて産地卸売市場の卸売業者からの仕入量割合が最も高くなっているものの、いか類は商社からの仕入量割合が41.1%、たこ類は消費地卸売市場の卸売業者からの仕入量割合が80.1%と最も高くなっている。

一方、海藻類は総じて漁協等からの仕入量割合が最も高くなっている。

表6 食品製造業における国内産水産物の品目別仕入先別仕入量割合

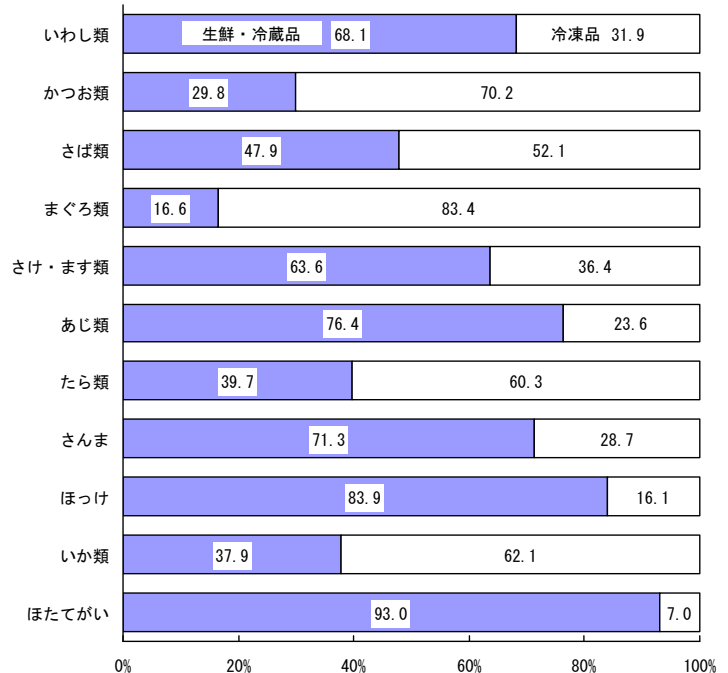
単位：%

品目	計	漁協等	食品卸売業				食品製造業	食品小売業	自社採捕・養殖	
			産地卸売市場卸売業者	消費地卸売市場		その他の卸売業				
				卸売業者	仲卸業者					
魚類計	100.0	6.9	59.1	6.5	1.7	4.6	11.5	8.9	0.5	0.2
うち、いわし類	100.0	31.6	29.5	2.1	4.5	5.9	12.1	12.3	-	1.9
かつお類	100.0	0.0	71.4	0.0	0.8	12.1	5.6	10.1	-	-
さば類	100.0	0.0	76.9	2.6	2.2	0.2	3.1	15.0	0.0	-
まぐろ類	100.0	0.3	79.6	2.2	0.9	0.0	3.6	13.4	-	-
さけ・ます類	100.0	25.0	45.5	3.9	1.6	1.3	15.1	7.6	0.0	-
あじ類	100.0	4.1	70.9	13.8	5.2	0.1	4.7	1.1	-	-
たら類	100.0	2.6	65.9	2.1	0.8	14.7	13.8	-	-	-
ぶり類	100.0	2.7	52.8	3.3	3.0	1.6	29.4	7.2	0.0	-
さんま	100.0	0.0	71.0	1.4	1.9	5.1	6.2	14.4	-	-
ほっけ	100.0	0.6	86.8	0.2	0.0	0.0	12.3	-	-	-
いか類	100.0	9.4	25.0	12.4	1.0	1.4	41.1	5.9	3.8	-
たこ類	100.0	0.0	13.0	80.1	0.0	0.8	6.1	0.0	-	-
貝類計	100.0	13.3	80.2	0.2	2.9	1.7	0.4	0.5	0.8	-
うち、ほたてがい	100.0	13.0	80.6	0.1	3.0	1.6	0.4	0.5	0.8	-
かき	100.0	19.6	50.6	11.9	0.1	17.6	-	-	0.2	-
海藻類計	100.0	73.3	1.2	0.2	0.5	4.1	0.4	20.4	0.0	-
うち、のり	100.0	29.1	0.7	1.1	2.1	0.5	1.3	65.2	0.0	-
こんぶ	100.0	79.6	2.7	0.0	0.0	13.4	0.5	3.8	0.0	-
わかめ	100.0	73.7	0.1	0.0	0.0	12.7	0.1	13.4	0.0	-

図12 食品製造業における国内産水産物の品目別仕入形状別仕入量割合

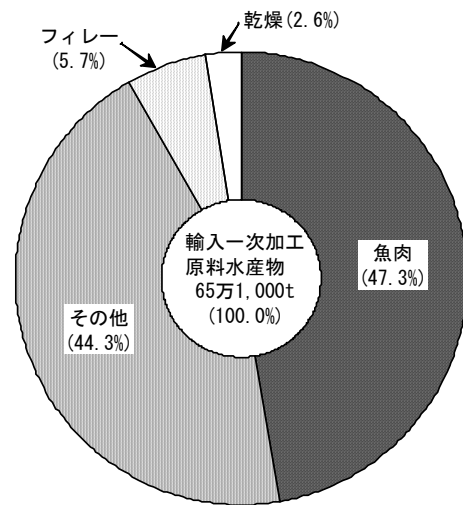
イ 食品製造業における国内産水産物の品目別仕入形状別仕入量割合をみると、ほたてがい、ほっけ、あじ類及びさんまは、生鮮・冷蔵品の占める割合が高く、特にほたてがいは93.0%とほとんどを占めている。

一方、まぐろ類及びかつお類は、冷凍品の占める割合が高く、それぞれ83.4%、70.2%となっている。



ウ 食品製造業における輸入一次加工原料水産物の仕入形状別の割合をみると、魚肉（すり身）での仕入量割合が47.3%と最も高く、次いで缶詰・冷凍調理品などのその他が44.3%、フィレーが5.7%、乾燥が2.6%となっている。

図13 食品製造業における輸入一次加工原料水産物の仕入形状別仕入量割合（実重量）



(2) 食品小売業

ア 食品小売業における国内産水産物の品目別仕入先別仕入量割合をみると、すべての品目で消費地卸売市場の仲卸業者からの仕入量割合が最も高くなっている。

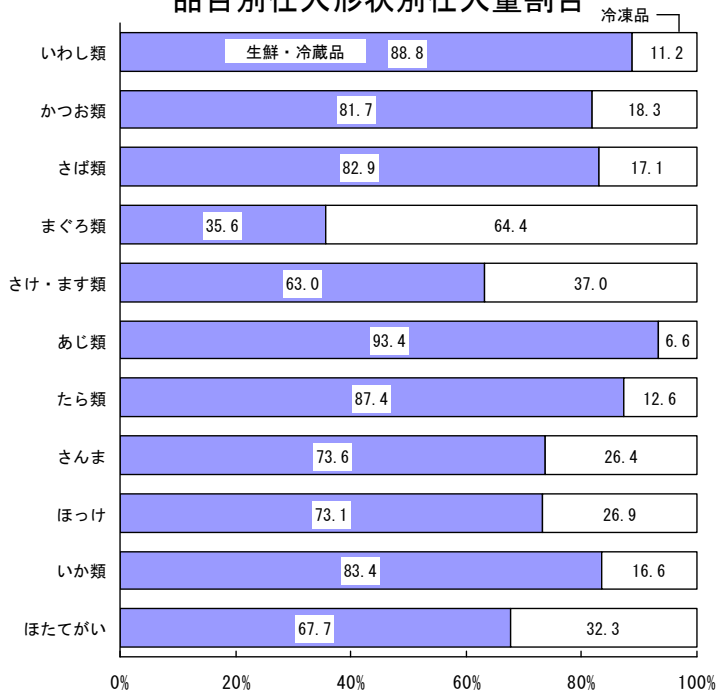
表7 食品小売業における国内産水産物の品目別仕入先別仕入量割合

品目	計	漁協等	食品卸売業					食品製造業	食品小売業	自社採捕・養殖
			産地卸売市場卸売業者	消費地卸売市場		その他の卸売業	商社			
				卸売業者	仲卸業者					
魚類計	100.0	5.9	15.4	21.8	46.7	4.4	2.5	2.9	0.4	-
うち、いわし類	100.0	8.3	20.3	19.9	46.4	3.2	0.3	1.4	0.2	-
かつお類	100.0	5.5	12.0	24.0	49.0	3.5	0.9	4.9	0.2	-
さば類	100.0	2.7	13.8	23.1	54.8	4.2	0.4	0.5	0.4	-
まぐろ類	100.0	1.3	6.7	14.1	59.8	4.1	7.7	6.2	0.2	-
さけ・ます類	100.0	3.5	9.1	24.7	48.9	6.1	2.0	5.0	0.6	-
あじ類	100.0	8.1	24.3	21.2	41.9	2.1	0.8	1.1	0.4	-
たら類	100.0	0.8	11.3	27.5	49.6	3.3	1.4	6.0	0.2	-
ぶり類	100.0	9.8	20.4	18.9	44.5	2.4	3.0	0.4	0.5	-
さんま	100.0	1.2	10.9	29.8	48.3	7.6	0.3	1.7	0.2	-
ほっけ	100.0	1.2	11.4	33.7	46.6	5.1	0.3	1.3	0.4	-
いか類	100.0	4.6	17.2	22.7	48.1	4.6	1.8	0.7	0.2	-
たこ類	100.0	5.3	16.0	20.8	44.0	5.2	2.4	4.3	2.1	-
貝類計	100.0	19.2	11.1	16.9	35.9	5.7	6.1	4.7	0.3	-
うち、ほたてがい	100.0	26.2	13.3	12.6	33.5	4.1	7.2	2.7	0.4	-
かき	100.0	18.9	11.2	15.9	36.0	5.8	1.8	10.0	0.4	-
海藻類計	100.0	13.0	5.4	12.0	26.2	15.7	1.6	25.4	0.7	0.0
うち、のり	100.0	19.9	15.2	9.0	23.0	14.0	1.8	15.4	1.7	0.0
こんぶ類	100.0	7.6	5.2	14.9	26.6	16.0	2.3	26.5	0.9	-
わかめ類	100.0	15.1	4.3	12.3	27.5	16.6	1.4	22.5	0.4	-

イ 食品小売業における国内産水産物の品目別仕入形状別仕入量割合をみると、総じて生鮮・冷蔵品の占める割合が高く、特にあじ類は93.4%とほとんどを占めている。

一方、まぐろ類は冷凍品の占める割合が高く64.4%となっている。

図14 食品小売業における国内産水産物の品目別仕入形状別仕入量割合



(3) 外食産業

ア 外食産業における国内産水産物の品目別仕入先別仕入量割合をみると、魚類及び貝類は総じて消費地卸売市場の仲卸業者からの仕入量割合が最も高くなっているもの、さけ・ます類は漁協等からの仕入量割合が35.9%と最も高くなっている。

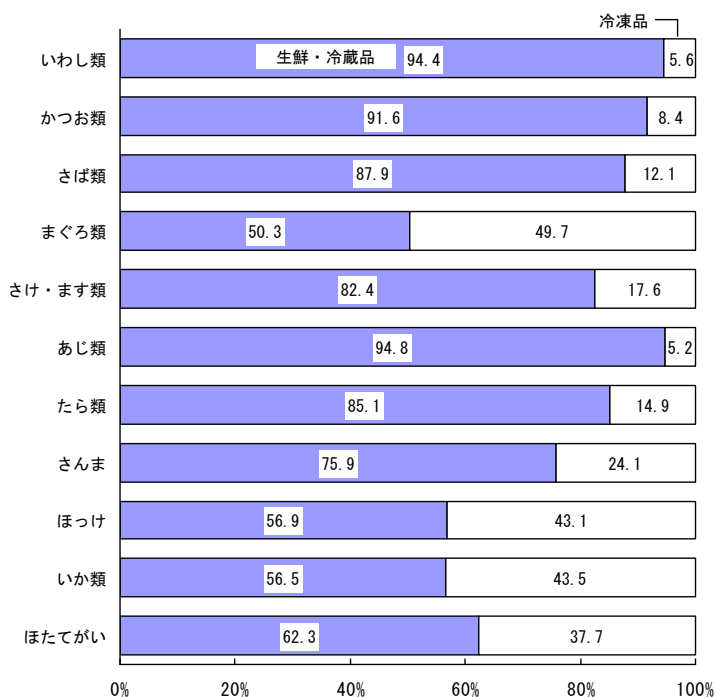
一方、海藻類は食品小売業からの仕入量割合が最も高くなっている。

表8 外食産業における国内産水産物の品目別仕入先別仕入量割合

品目	計	漁協等	食品卸売業					食品製造業	食品小売業	自社採捕・養殖
			産地卸売市場卸売業者	消費地卸売市場		その他の卸売業	公社			
				卸売業者	仲卸業者					
魚類計	100.0	5.3	4.7	11.3	45.7	10.2	2.6	2.4	17.7	-
うち、いわし類	100.0	1.2	5.6	5.0	69.4	1.9	0.2	3.6	13.1	-
かつお類	100.0	1.3	20.0	11.1	44.4	4.1	0.3	0.5	18.4	-
さば類	100.0	2.5	6.7	10.8	47.3	4.9	1.0	1.3	25.5	-
まぐろ類	100.0	1.8	2.2	17.4	46.1	8.5	8.7	1.1	14.2	-
さけ・ます類	100.0	35.9	3.0	7.3	26.4	9.4	2.0	2.8	13.3	-
あじ類	100.0	5.0	5.9	18.2	47.5	6.1	0.1	1.7	15.5	-
たら類	100.0	0.4	4.8	17.4	38.4	2.8	1.5	0.5	34.2	-
ぶり類	100.0	7.8	5.3	9.1	54.6	2.3	0.5	2.4	17.8	-
さんま	100.0	0.4	4.0	16.0	45.4	5.8	0.4	0.4	27.5	-
ほっけ	100.0	-	4.2	31.0	27.4	7.1	1.2	4.0	25.1	-
いか類	100.0	4.0	5.6	10.2	33.3	18.3	1.5	6.2	20.9	-
たこ類	100.0	3.0	10.2	8.9	33.6	13.1	3.6	8.4	19.1	-
貝類計	100.0	3.6	4.3	13.9	42.3	10.9	5.0	2.6	17.5	-
うち、ほたてがい	100.0	6.0	1.5	9.8	41.9	11.9	8.9	4.3	15.8	-
かき	100.0	1.6	6.7	8.1	47.6	11.3	0.8	2.0	21.8	-
海藻類計	100.0	2.3	2.5	6.4	25.2	19.4	2.2	8.4	33.7	-
うち、のり	100.0	1.1	0.3	7.1	22.1	21.6	2.6	21.4	23.8	-
こんぶ類	100.0	1.4	0.7	5.8	23.0	25.1	2.7	7.1	34.1	-
わかめ類	100.0	3.3	5.2	4.3	26.7	13.8	1.9	4.2	40.6	-

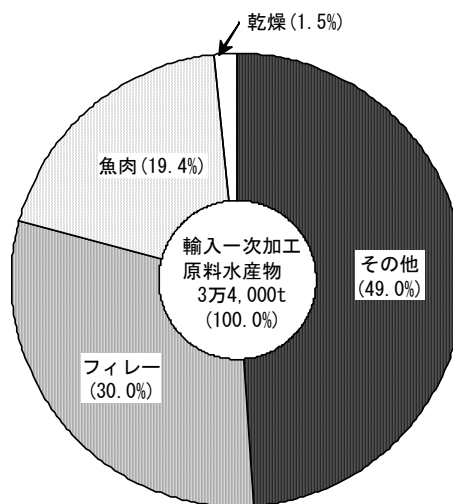
イ 外食産業における国内産水産物の品目別仕入形状別仕入量割合をみると、すべての品目で生鮮・冷蔵品の仕入量割合が高く、特にあじ類及びいわし類は、それぞれ94.8%、94.4%とほとんどを占めている。

図15 外食産業における国内産水産物の品目別仕入形状別仕入量割合



ウ 外食産業における輸入一次加工原料水産物の仕入形状別の割合をみると、缶詰・冷凍調理品などのその他での仕入量割合が49.0%と最も高く、次いでフィレーが30.0%、魚肉が19.4%となっている。

図16 外食産業における輸入一次加工原料水産物の仕入形状別仕入量割合（実重量）



4 水産物の仕入事業所数割合

(1) 国内産及び輸入水産物

ア 国内産水産物の仕入先別事業所数割合をみると、食品製造業では産地卸売市場の卸売業者から仕入れている事業所が39.5%、食品卸売業では消費地卸売市場の卸売業者から仕入れている事業所が47.2%、食品小売業では消費地卸売市場の仲卸業者から仕入れている事業所が48.5%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が48.3%とそれぞれ最も高くなっている。

一方、輸入水産物については、食品製造業では商社から仕入れている事業所が44.3%、食品卸売業では消費地卸売市場の卸売業者から仕入れている事業所が53.0%、食品小売業では消費地卸売市場の仲卸業者から仕入れている事業所が53.7%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が36.3%とそれぞれ最も高くなっている。

表9 国内産・輸入別水産物の仕入先別事業所数割合

単位：%

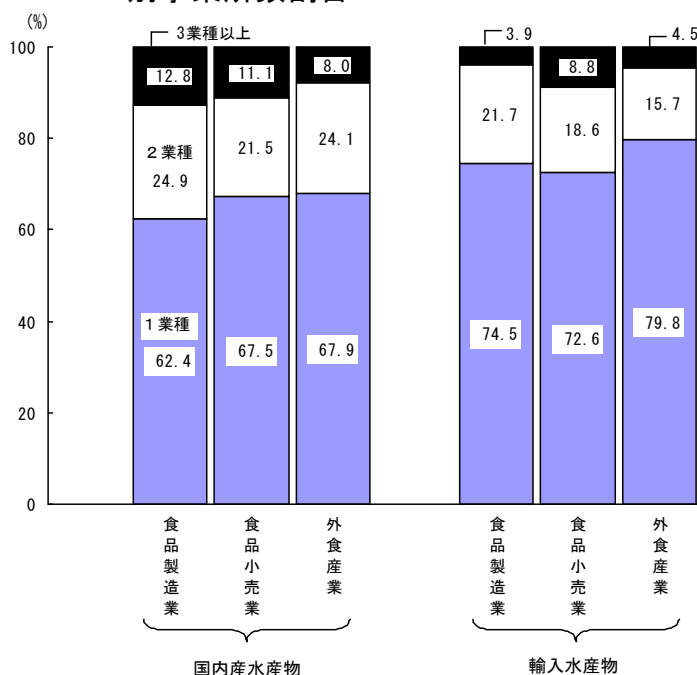
業種	漁協等	食品卸売業					自社直接輸入	食品製造業	食品小売業	自社採捕・養殖	
		産地卸売市場卸売業者	消費地卸売市場		その他の卸売業	商社					
			卸売業者	仲卸業者							
国内産水産物	食品製造業	32.3	39.5	14.6	11.9	18.9	17.0	-	18.0	1.6	0.7
	食品卸売業	27.5	30.2	47.2	22.1	20.7	10.4	-	13.4	1.9	0.4
	食品小売業	9.1	21.1	29.9	48.5	22.1	5.6	-	9.6	4.8	0.0
	外食産業	6.7	5.7	12.7	31.8	25.8	5.0	-	6.5	48.3	-
輸入水産物	食品製造業	-	9.3	23.9	8.9	23.6	44.3	6.9	12.7	2.4	-
	食品卸売業	-	11.9	53.0	21.2	21.4	26.4	7.7	11.6	0.8	-
	食品小売業	-	10.3	33.7	53.7	19.4	10.3	2.1	8.1	3.8	-
	外食産業	-	3.6	10.8	27.4	31.1	10.3	0.7	4.8	36.3	-

注：仕入先が複数ある事業所があるため、仕入先別事業所数割合の計は100%にならない（以下の表10において同じ。）。

イ 国内産水産物の仕入先業種別事業所数割合をみると、食品製造業においては、複数業種（2業種及び3業種以上）から仕入れている事業所数割合がやや高いものの、総じて同傾向となっている。

また、輸入水産物についても、食品小売業において、3業種以上から仕入れている事業所数割合がやや高いものの、総じて同傾向となっている。

図17 国内産・輸入水産物における仕入先業種別事業所数割合



(2) 輸入一次加工原料水産物

ア 輸入一次加工原料水産物の仕入先別事業所数割合をみると、食品製造業では商社から仕入れている事業所が48.1%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が33.5%とそれぞれ最も高くなっている。

表10 輸入一次加工原料水産物の仕入先別事業所数割合

単位：%

業種	食品卸売業					自社直接 輸入	食品 製造業	食品 小売業
	産地卸売 市場 卸売業者	消費地卸売市場		その他の 卸売業	商社			
		卸売業者	仲卸業者					
食品製造業	5.4	19.8	8.9	28.4	48.1	3.2	14.8	1.8
外食産業	3.3	10.2	21.9	27.7	11.5	0.7	4.9	33.5

イ 輸入一次加工原料水産物の仕入先業種数別事業所数割合をみると、食品製造業及び外食産業とも1業種から仕入れた事業所数割合が最も高く、それぞれ76.8%及び87.2%となっている。

図18 輸入一次加工原料水産物における仕入先業種数別事業所数割合

